

2016年度 前期第1回 DUO リーグ会議 議事録

【日時】 2016年（平成28）2月27日 17:00~18:35（終了後、日程調整会議）

【場所】 本郷高校 5号館3階 第二PC室

【出席】 34クラブ(氏名)

都小石川（宗友）	昭和一（山口）	三菱養和（益子）
京華（小金丸）	都向丘（ ）	筑波大附（大河原）
学習院（玉生）	豊南（小松）	本郷（岩野）
城西（秋葉）	豊島学院（早川）	郁文館（井上）
駒込学園（宮坂）	巣鴨（馬場）	立教池袋（橋本）
獨協（荒井）	淑徳巣鴨（石原）	都竹早（松本）
日大豊山（海老根）	都文京（中村）	都足立（山野）
都江北（蓑輪）	足立学園（遠藤）	都荒川商（智片）
中大高（加藤）	都足立西（栗山）	都千早（竹内）
都足立新田（小俣）	貞静学園（杉本）	都淵江（浅井）
都豊島（丹羽）	都青井（小川）	FC西巣鴨03（宮）
文中選（ ）		

【欠席】

中村（向丘・連絡なし）、文中選

【オブザーバー：選手】 なし

【オブザーバー：一般】

佐藤いちろう（スキンプロジェクト）、春日・岸（事務局）、藤巻・花川（本郷）、大塚（都足立）、堀井（都青井）吉田（駒込）、北爪（豊島学院）、泉（都文京）

【議事録作成者】 春日（事務局長代理）

【議題】

1. 足立西の脱会（休会）&都青井の新規加盟（夏に承認済み）
2. サロン2002との業務委託について
3. ホームページについて
4. 参加費について
5. DUOリーグ実施概要について
6. 後期イベントについて
7. 各部門より
8. 2016年度DUOリーグについて
9. その他確認事項

1. 足立西の脱会（休会）&都青井高校の新規加盟（夏に承認済み）

足立西高校顧問の栗山先生から脱会（休会）の経緯を説明。その後、青井高校顧問の小川先生から挨拶があった。

2. 特定非営利活動法人サロン 2002 との業務委託について

非営利活動法人サロン 2002 との業務委託について、事務局長の岸から説明。以前より行っていた事務局業務の内容が文書化された。

オブザーバー参加の佐藤より、スキンプロジェクトについての説明があり、その後各種トロフィーの授与を行った。

3. ホームページについて

昨年まで使用していたホームページが都合により、今年度から使えなくなりました。そこで、今年度から新しく大日本印刷のホームページを利用することとなった。

各会場の結果と得点者、警告退場者を入力すると自動的に星取表に反映されるようになる。これによって、今まで使用していたエクセルファイルによる記録・集計は行わなくなる。しかし、**今まで通り ML による情報共有は続ける**。理由は会計や審判評価などの集計のために必要であるため。

新しいホームページ使用に当たり、**1 チーム 432 円**の費用が発生する。これについては徴収している参加費内で賄う。

登録画面 URL :

<https://www.goalnote.net/result/regist.php?tid=8819&h=1382cddf742f9e6fcc08772bfa4860e9b6a6e123>

4. 参加費について

チェアマンの岩野から、**今年度の参加費は 1 チーム 20000 円のまま継続**し、2017 年度に参加費を変更する考えがあることが伝えられた。理由は、試合数が異なるにも関わらず、参加費が一律であることは試合数の少ないチームにとって不公平であるから。

具体的な内容は、1 部は一律 20000 円とし、2 部以下は 1 試合につき 2000 円として計算する。1 部が一律である理由は、2 部以下と同様の形で行うと 2 部よりも安くなってしまう可能性があり、これはリーグとして不自然であるから。

本日はこの問題について、議論は行われなかった。しかし、今後の DUO 会議の中で、取り上げていく議題であると全体に共有した。

5. DUO リーグ実施要綱について

チェアマンの岩野から、2016 年度 DUO リーグ実施要綱（理事会案）について説明。全体に対して、1 節は必ず主催チームを担当することを再確認した。

今年度の昇降格のルールは・・・

- 1 部と 2 部間は①地区トップの結果によって降格するチーム数は変動②2 部上位 2 チームが昇格。
- 2 部と 3 部間は①上位リーグの降格数により降格するチーム数は変動②上位 3 チームが昇格。

試合時間を1部45分ハーフ、2部以下40分ハーフに変更。これにより、運営面でかなり難しい部分は生じてしまうが、現在高体連で35分ハーフの試合が行われていないこと、1部を地区トップのレギュレーションに合わせたいことという理由から、今年度は試合時間を変更して行う。運営面については、①どうしても収まりきらないなどの場合に9月までずれ込むことも考慮する②試合間の日程を今までよりも詰める、など工夫することで対応する。

また、交代規定についても地区トップに合わせるため、1部は20人登録の5人交代とする。

6. 後期イベントについて

前年度の後期はイベントの数が少なく、盛り下がってしまった。この点を考慮し、今年度は積極的にイベントの実施、参加を呼び掛けた。

その上で、今まで実施してきたフリースイズフットボールを今後も続けていくか検討する必要がある。例えば、任意参加型の11人制サッカーのリーグに変更するなどを検討してはどうか。

次の会議でも議題として取り上げる。

7. 各部門より

(事業部門：審判部) 新規4級審判講習会を実施予定。すでにキックオフから申し込みも可能である。ただ、手違いでDUO主催のものが2つ表示されている。申し込みの際には、2ページ目にあるものを選択し、手続きを進める。

(事業部門：技術部) ライフキネティック講習会を実施した。告知から実施日までの期間が非常に短かったにも関わらず、参加者が非常に多かった。ここから、この講習会への関心が高いことがうかがえ、今後も実施できるよう検討していく。

(管理部門：会計報告) DUOリーグの会計は1月31日締めになっていることを確認。今年度は2月になってから参加費等の振り込みがあったことも多く、2015年度決算書には2月に振り込まれたものも反映させている。

報告書にある審判講習会は2014年度末に実施されたものである。

繰越金が約300万円もあり、この額は非常に大きい。額が大きくなっている理由は、過去20年の参加費・加盟費の徴収額や運営体質に問題があったためである。そこで、今後は単年度としては少しずつ赤字になる形での運営を行い、この繰越金を減らし、生徒、クラブに還元していくよう努める。

(管理部門：広報部) 昨年度は、プログラムの発行が遅れてしまった。そこで今年度は新入部員を反映させた形で最も早く、各クラブの手元に届くことを目指す。その為、メンバー表の提出は4月16日(土)を厳守する。万が一間に合わなかったクラブへは催促を行います。4月20日(水)を持って完全に締め切り、ゴールデンウィーク前に各クラブに発送する。

プログラム作成に批判的な声もあるが、DUOリーグのパンフレットがないと、自分の名前が残ることがなく、選手達にとっても非常に寂しい。スタッフには必要ないものかもしれないが、選手達のために発行する意義があることを理解して欲しい、とチェアマンの岩野から伝えられた。

(企画部門) 2015年度はコインケースづくり、マーカーの芯でのペン立てづくりのワークショップを行った。2016年度からはサロン 2002 に引き継ぐ。

8. 2016年度 DUO リーグについて

各リーグの組み合わせは、同じクラブのチームが同リーグに入らないように配慮し、組み合わせた。ただし、駒込については3部に3チームが参加するため、例外的に同リーグ内に同クラブのチームが入っている。

9. その他確認事項

MLのフォーマットについて再度確認を行った。特に、件名にどのリーグの結果なのかを明記し忘れることがあるので、リーグ名の記入を周知した。

MLによる試合結果報告は会場チームではなく、主催チームが行う。

今年度から試合日程の変更はホームページ上にアップされるため、変更が出た場合には、**MLで報告したのちホームページ上も更新させる。**

次回 DUO 会議は **7月18日17時**から行う。

以上。